

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

8

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物は分別し、適切な管理および処理に取り組んでいる。愚弟的には、リサイクルが難しい廃プラスチックは「塩ビ」と「非塩ビ」に分けるなど、より高度な分別に取り組んでいる。また、現場で発生した資材や住宅塗料を、可能な限りその現場内で再利用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気、ガス、ガソリンなどのエネルギー使用量は毎月把握し、節電、省エネに取り組んでいる。把握方法として、電気とガスに関しては社屋の光熱費の使用量の明細、ガソリン代に関しては、社用車のガソリン代のレシートをもとに算出し、月別に把握している。また、削減方法としては、社屋に電力を確保できるように、ソーラーパネルを設置し、削減を行っている。ガソリン代に関しては、社用車を、ガソリン車からハイブリット車や電気自動車へ移行している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		計算ソフトを導入し、CO2排出量を算出している。現在の社用車の買い替え時には、ハイブリット車 or EV車への変更を計画している。また、顧客へ断熱遮熱効果のある外壁塗料を推奨しており、CO2排出の削減や地球温暖化の抑制に取り組んでいる。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		事業所、及び社員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。主事業である外壁塗装の観点での環境への悪影響を及ぼさない取り組みとしては、塗料の廃液の削減を行うため、施工面積に応じた適量を使用するように余りの液剤がでないよう取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水、適切な汚水処理を実施している。具体的には、事務所内での昼食の際、生活排水を汚さない様、食器を拭いてから洗い、油污れ、細かい食べ残しが流れないようにスタッフ間で実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙の利用など、可能な限り、環境に配慮した製品を使うようにしている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	社内の緑化に取り組んでいる。社屋は国道沿いにあるため植樹植林はできないので、社奥前にプランターの植物を置き、緑化活動を行なっている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	事務所内の照明は全てLEDに交換するなど、省エネ機器を購入するよう取り組んでいる。また、こまめな消灯などにも配慮している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

